

支部情報

宇部支部

学び育ちあう学校づくりに

向けて

宇部市の各小中学校では、「宇部市教育振興基本計画」学び合うまち 宇部教育プラン」に基づき、「子どもたちの学びと育ちを保障する教育の推進」を教育重点目標として、「学び育ちあう学校づくり」に向けて特色ある教育活動を展開している。

宇部市小学校長会は、二十四校で構成され、会場を各校持ち回りで、月一回程度の自主研修会を開催している。

研修会では、県・市校長会や小教研関係の情報伝達、各校における学校運営上の諸問題を情報交換しながら、市校長会として共通理解したり、諸問題に

対応する手がかりなどについて協議したりしている。研修について



では、二十六年度から「これからの学校を担うリーダーの育成」学校の教育課題解決に向けた人材育成の具体的方策」を研究課題に掲げ

一 課題別組織・校務分掌改善等による組織作りによる人材育成

二 資質能力の明確化や育成計画のシステム化によるミドルリーダーの育成

三 学校運営への参画や行政等との連携による管理職人材の育成

の三つの観点において、研究を深めている。今後も学校の教育力向上に向けて、さらに組織力を強化し、教育委員会との連携を深め、教育課題解決に向けた人材育成の内容や方法の工夫・改善を実践しながら、これからの学校を担うリーダーの育成に努めたい。

また、児童の学力向上、教員の授業力向上・授業改善に向けて「学びの創造推進事業」を推進したり、中学校区の合同学校運営協議会（うべ教育ネット）により地域の教育支援体制を充実させたりすることで、学校教育の質の向上を図ることが求められている。

これからも、支部の会員が互いの英知を活かしながら、「学び育ちあう学校づくり」に向けて取り組んでいきたい。

（鶴ノ島小学校 川口武則）

支部情報

支部情報

周防大島支部

豊かな自然の中に

ほとばしる教育への情熱

わたしの勤務している周防大島町は山口県の南東部に位置し、瀬戸内海の島の中で三番目の大きさである。島と本土とは大島大橋によって連結している。また、比較的温暖な気候で、美しく澄み渡った瀬戸内海と心温かな地域の人が大島の自慢である。現在の周防大島町は、平成十六年に四町が合併し、誕生した。

小学校長会は、十一校で構成され、月に一回、定例会を開いている。会は、各校の持ち回りで、会議を開く前に授業参観をしたり、地域の自然に触れたり、周防大島ならではの、特徴のある会となっている。

研修については、平成二十五年度より、研究課題を、「学校教育充実を図る評価・改善の推進」地域の特性を生かし「マイナスイ」をプラスに転じる」と設定している。

「学校評価の工夫」「教員評価の工夫」「学校評価と教員評価の関連付け」という視点から、喫緊の課題である学力

向上に向けて、教員の意識改革と資質向上に取り組んでいる。

本町の特性を生かし、保護者・地域、中学校、小学校との連携を強化する中で、「共有」と「参画」をキーワードに教員に働きかけを続けている。

さらに、これらを、校長の役割という観点から、「教育ビジョンの明示」「連携の推進」など四つの視点から捉え直し、成果や課題を共有することで、今後の取組の充実を図りたいと考えている。

この取組は、平成二十六年度山口県小学校長会秋季研究大会の第二部会「評価と改善」で提案した。

成果として、教職員の意識改革が進み、課題意識と改善への参画意識が高まった等が挙げられるが、課題もあり、これから研修をさらに推進していく必要性も感じている。

町内の小学校が、コミュニティ・スクールを立ち上げ、地域とともにある学校を合い言葉に邁進する中、KS（拡大集合学習）も成果を上げつつある。

今後、全校長・教職員が力を合わせて、すばらしい子ども・学校を作り上げていく覚悟である。

（油田小学校 金田繁満）

